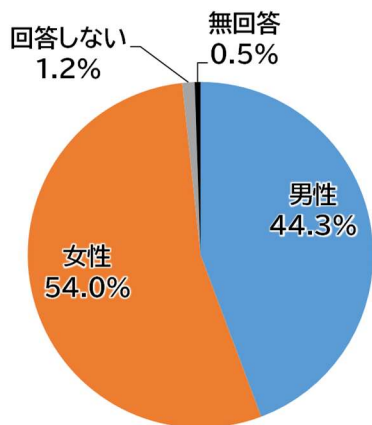


三木市都市計画マスタープラン見直しに関するアンケート結果

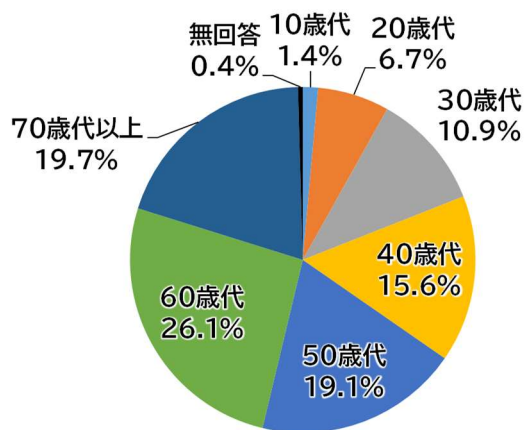
都市計画マスタープランの見直しに市民の皆さまの意見を反映するため、令和7年8月12日から31日にかけて、三木市のまちづくりに関するアンケート（18歳以上の市民3,000人を無作為抽出、有効回収率37.3%）を実施しました。

1. 回答者の属性

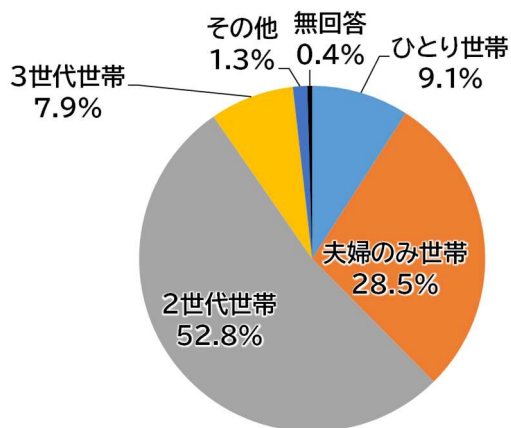
問1①：性別



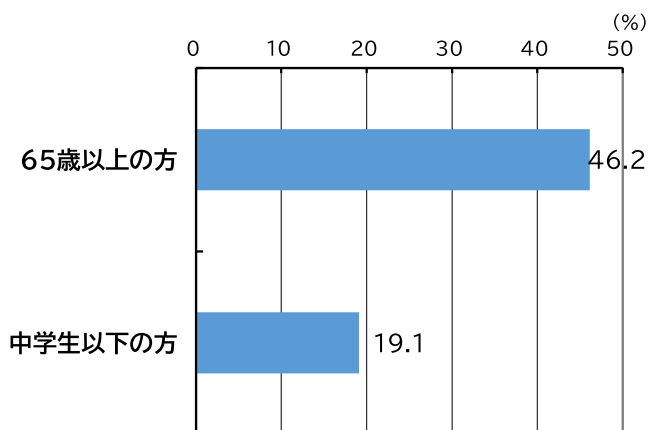
問1②：年齢



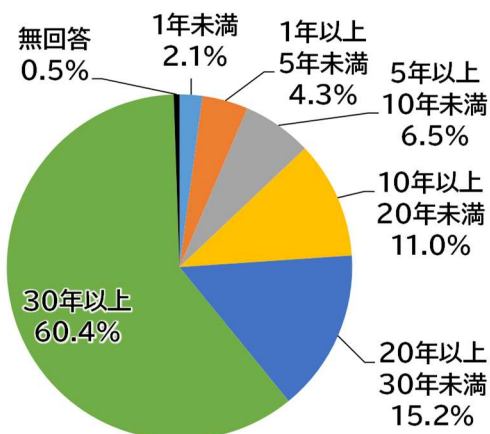
問1③：家族構成



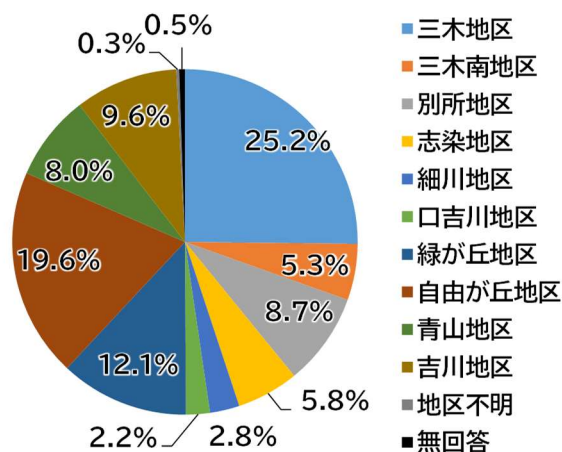
問1④：65歳以上または中学生以下のご家族の有無



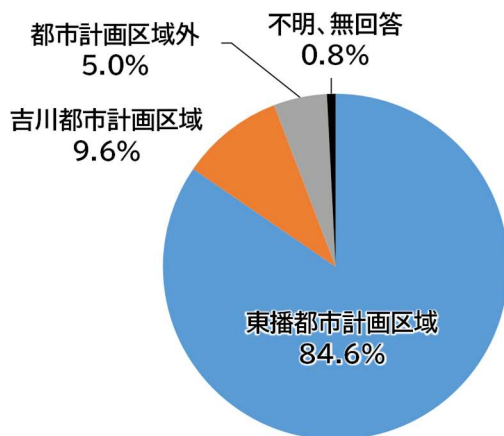
問1⑤：三木市での居住年数



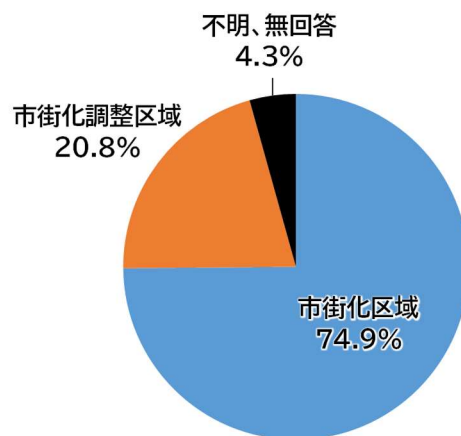
問1⑥：居住地域



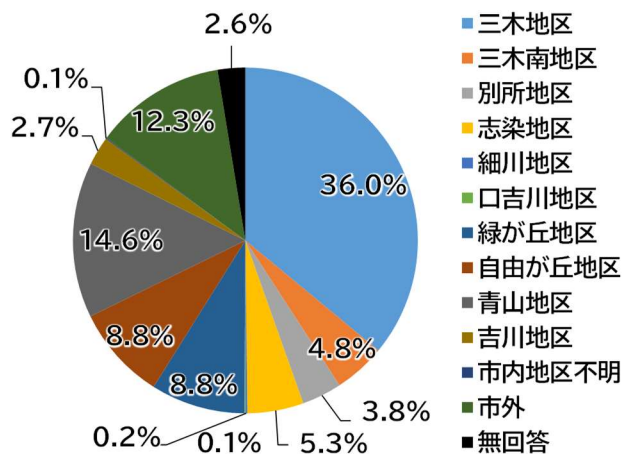
問1-⑦：区域区分（その1）



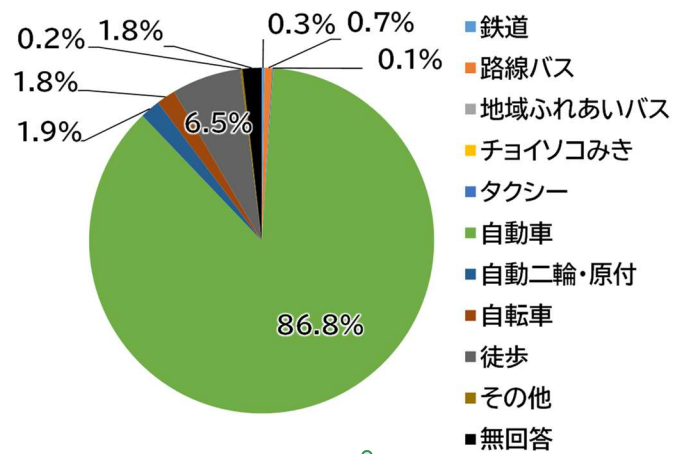
問1-⑦：区域区分（その2）



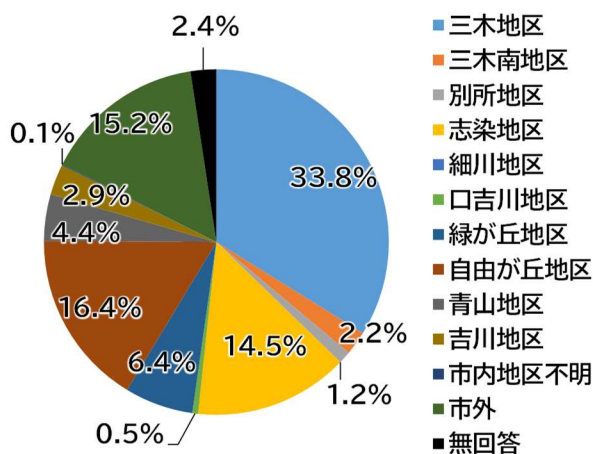
問2：日用品の買い物先



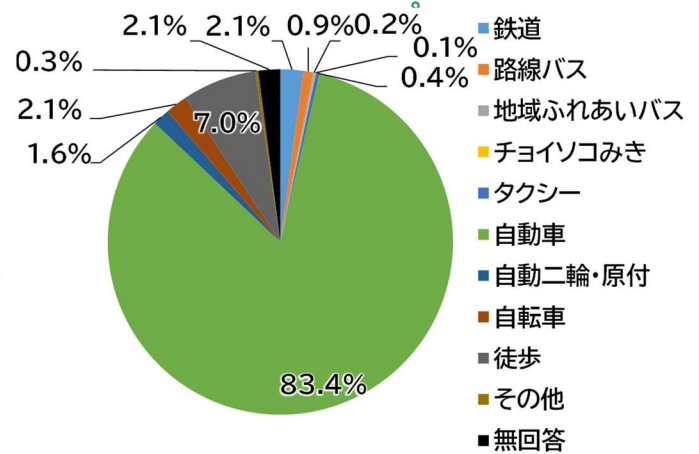
問3：日用品の買い物における交通手段



問4：病院や診療所への通院先



問5：通院で利用する交通手段



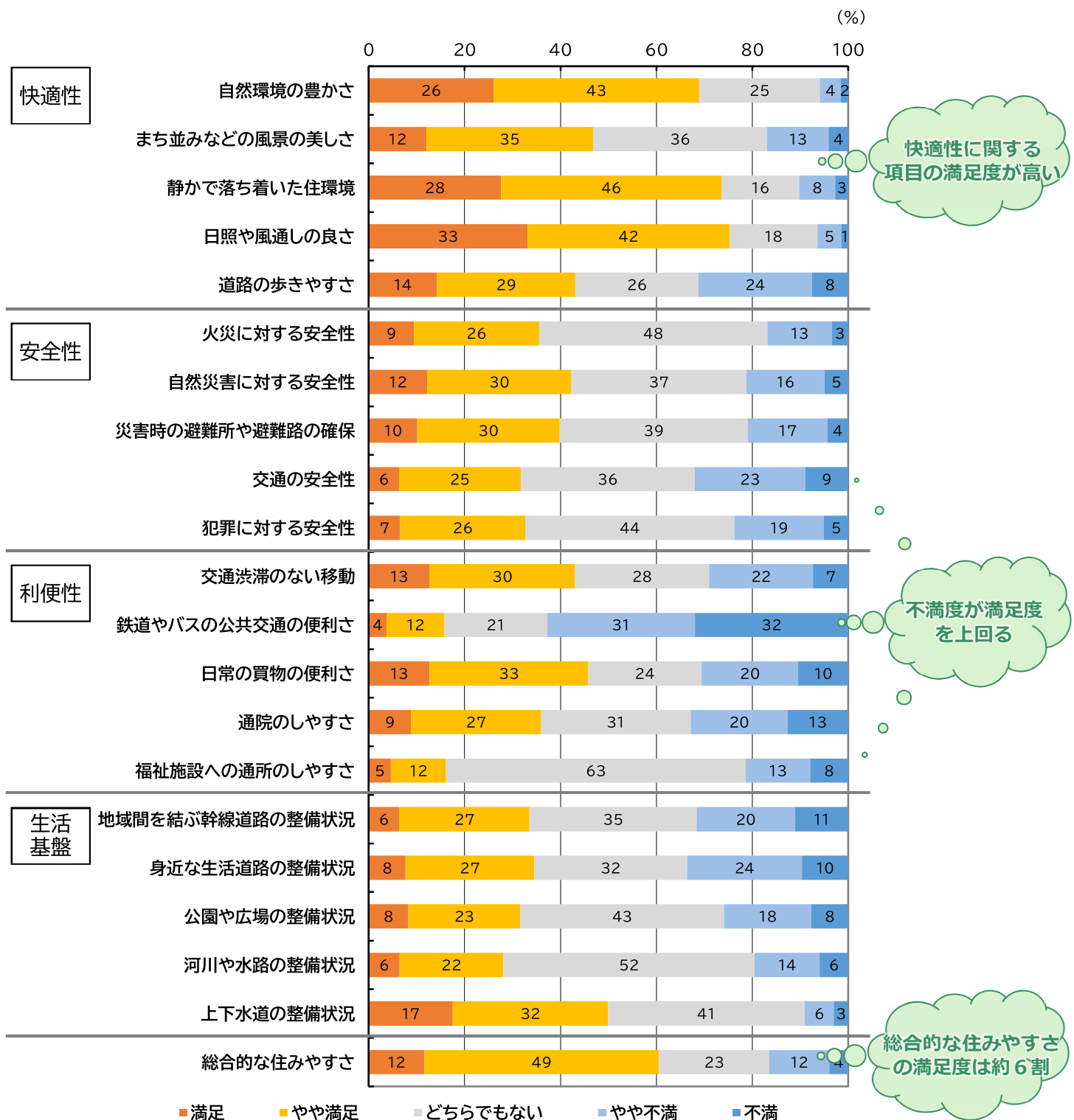
買い物・通院は
自動車を利用される
方が多い

2. 居住地区の現状と今後のまちづくり

問6：お住まいの地区における現状の満足度と重要度について、どのようにお考えですか。

■居住地区の生活環境の評価（満足度）

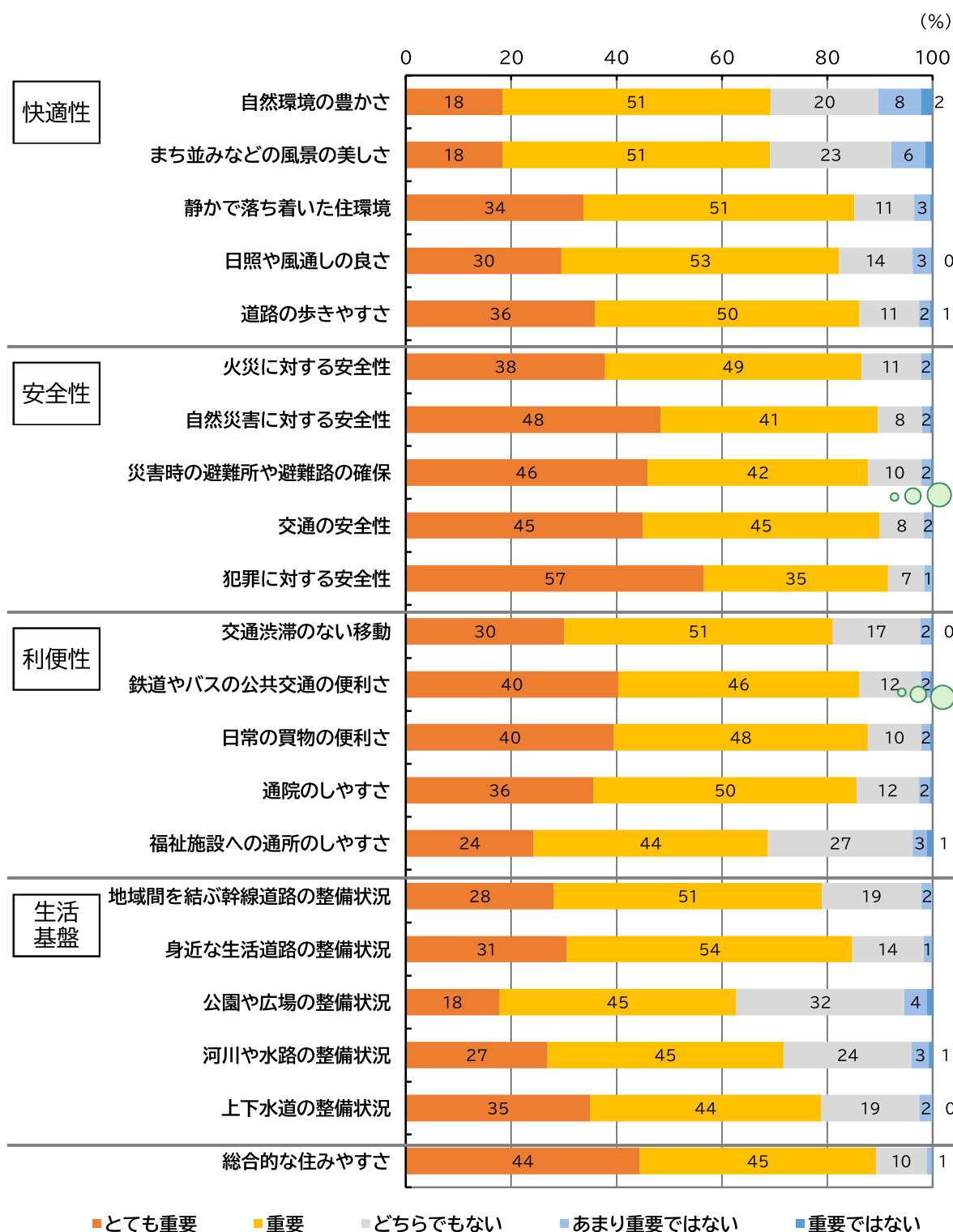
- ・「日照や風通しの良さ」「静かで落ち着いた住環境」「自然環境の豊かさ」など、快適性に関する項目の満足度が高くなっています。
- ・不満度が満足度を上回る項目は、「鉄道やバスの公共交通の便利さ」、「交通の安全性」、「福祉施設への通所のしやすさ」となっています。



問6：お住まいの地区における現状の満足度と重要度について、どのようにお考えですか。

■居住地区の生活環境の評価（重要度）

- ・重要度はいずれの項目も高くなっていますが、特に安全性に関する項目は「とても重要」「重要」の合計がいずれも85%を超えています。

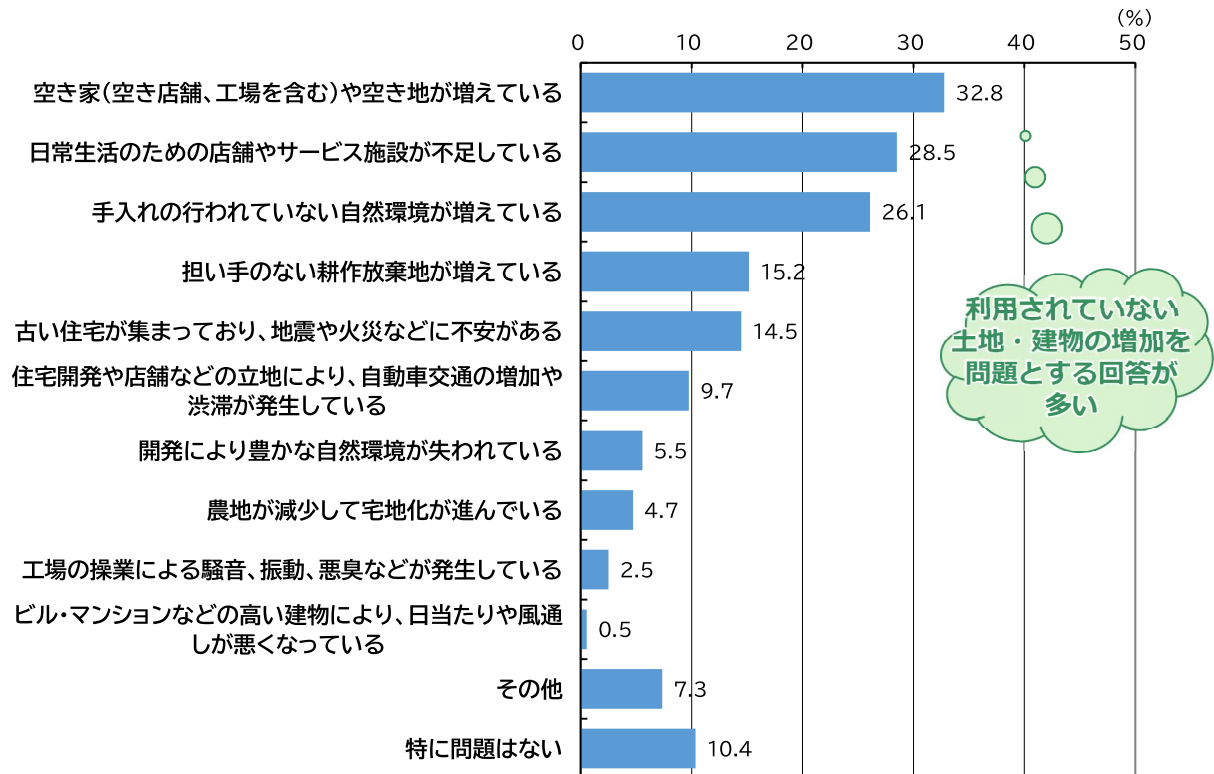


安全性に関する項目の重要度が高い

重要度と満足度のギャップが大きい

問7：お住まいの地区において、土地利用上特に問題が大きいものはどれですか。【最大2つまで】

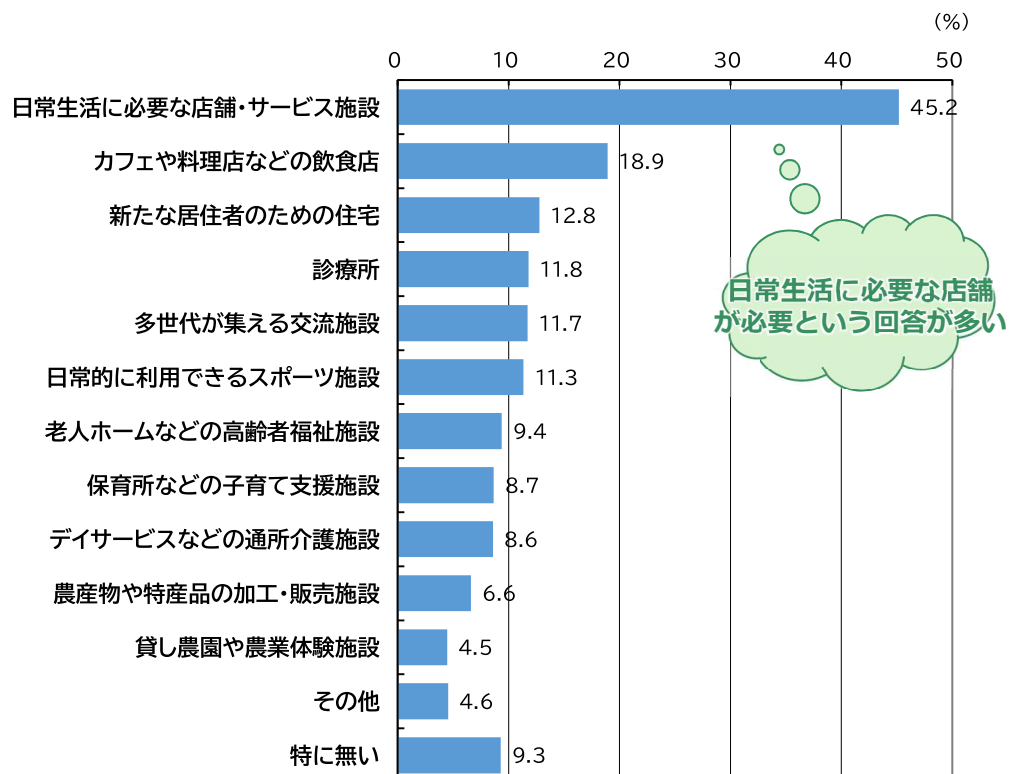
- ・「空き家（空き店舗、工場を含む）や空き地が増えている」（32.8%）が最も多く、次いで「日常生活のための店舗やサービス施設が不足している」（28.5%）、「手入れの行われていない自然環境が増えている」（26.1%）となっています。



問8：お住まいの地区において、地域の活力維持のために必要だと思う施設はどれですか。

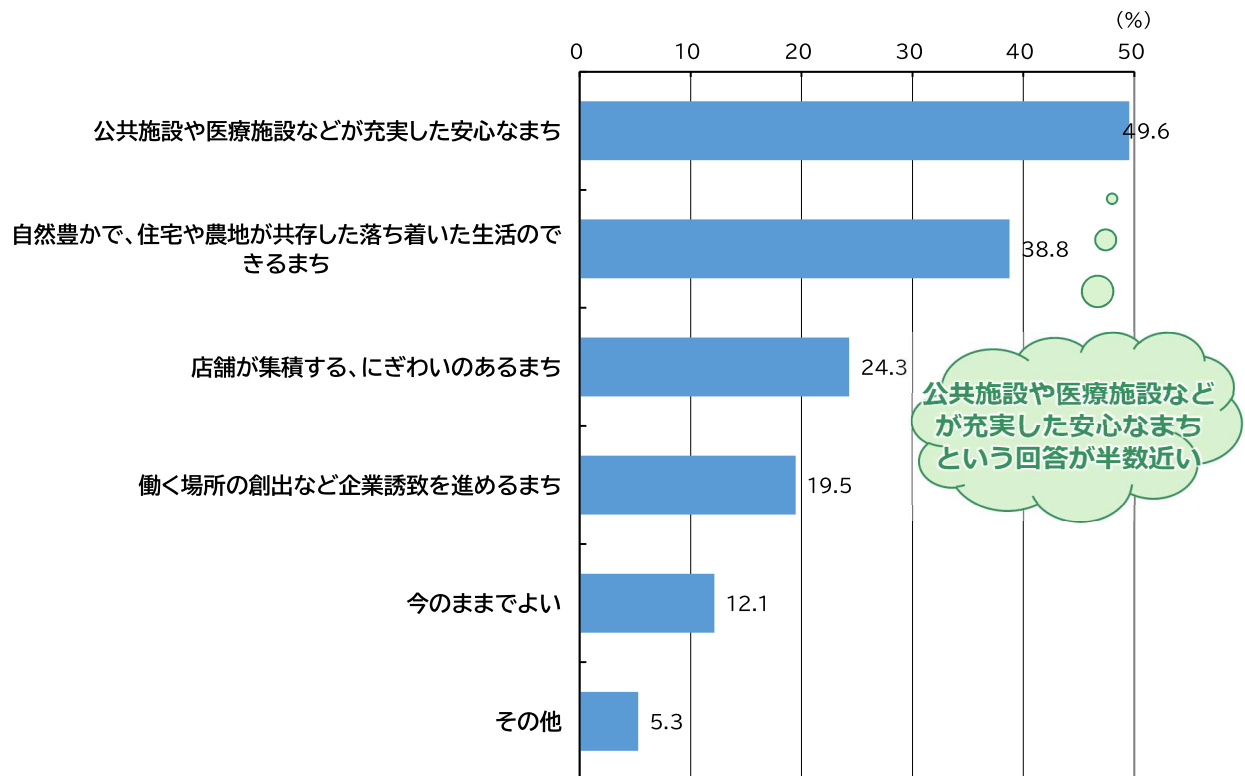
【最大2つまで】

- ・「日常生活に必要な店舗・サービス施設」（45.2%）が最も多く、次いで「カフェや料理店などの飲食店」（18.9%）、「新たな居住者のための住宅」（12.8%）となっています。



問9：お住まいの地区において、どのようなまちづくりを進めていくべきですか。【最大2つまで】

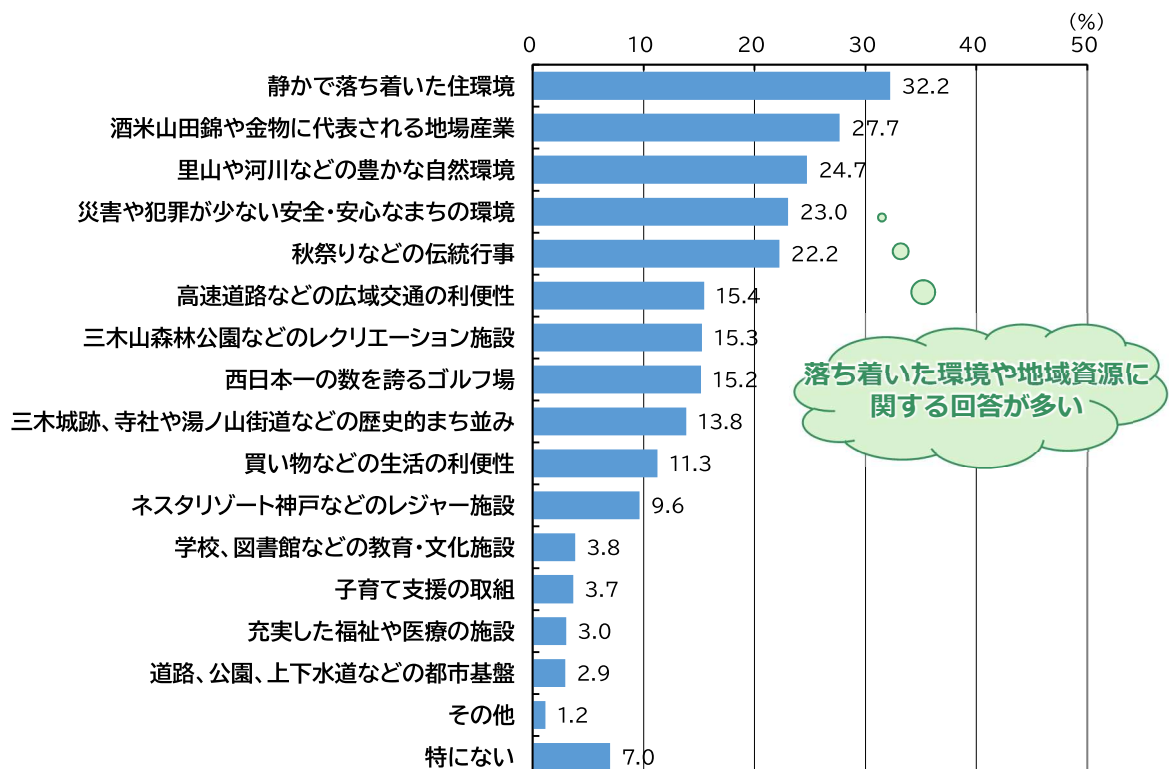
- ・「公共施設や医療施設などが充実した安心なまち」（49.6%）が最も多く、次いで「自然豊かで、住宅や農地が共存した落ち着いた生活のできるまち」（38.8%）、「店舗が集積する、にぎわいのあるまち」（24.3%）となっています。



3. 三木市の魅力と定住意向

問10：三木市の魅力や誇れるものは何ですか。【最大3つまで】

- ・「静かで落ち着いた住環境」（32.2%）が最も多く、次いで「酒米山田錦や金物に代表される地場産業」（27.7%）「里山や河川などの豊かな自然環境」（24.7%）となっています。



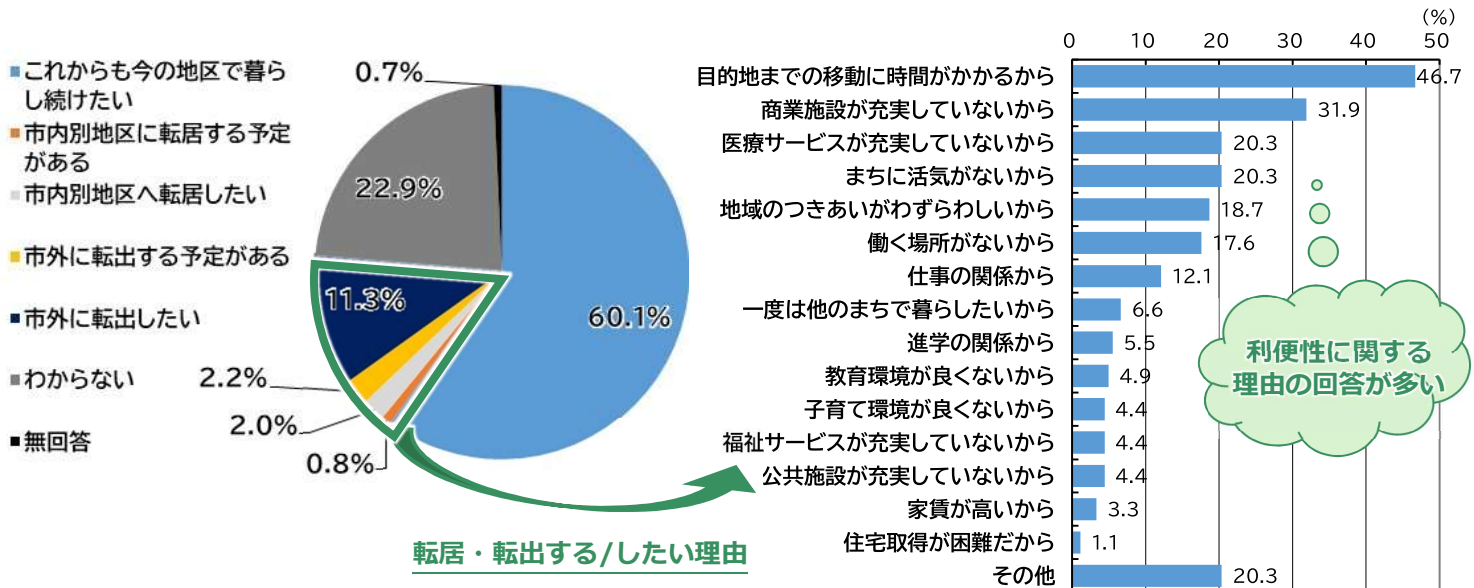
問 11：あなたはこれからも三木市に住み続けたいですか。
問 12：転居・転出する／したい理由を教えてください。【最大3つまで】

■ 定住意向

- ・「これからも今の地区で暮らし続けたい」が 673 人（60.1%）と最も多く、次いで「わからない」257 人（22.9%）、「市外に転出したい」126 人（11.3%）となっており、6 割以上がこれからも三木市で暮らしたい意向となっています。

■ 転居・転出する／したい理由

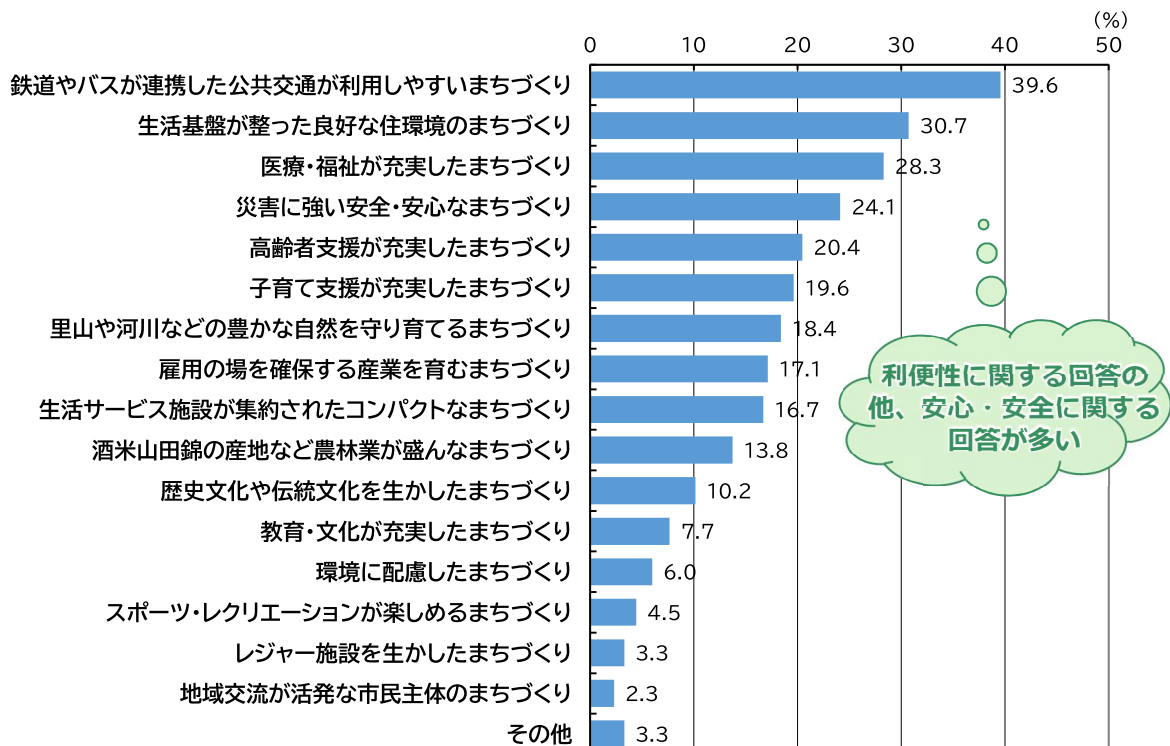
- ・「目的地までの移動に時間がかかるから」（46.7%）が最も多く、次いで「商業施設が充実していないから」（31.9%）、「医療サービスが充実していないから」と「まちに活気がないから」がそれぞれ（20.3%）となっています。



4. 三木市の今後のまちづくり

問 13：将来、三木市はどのようなまちをめざすべきだとお考えですか。【最大3つまで】

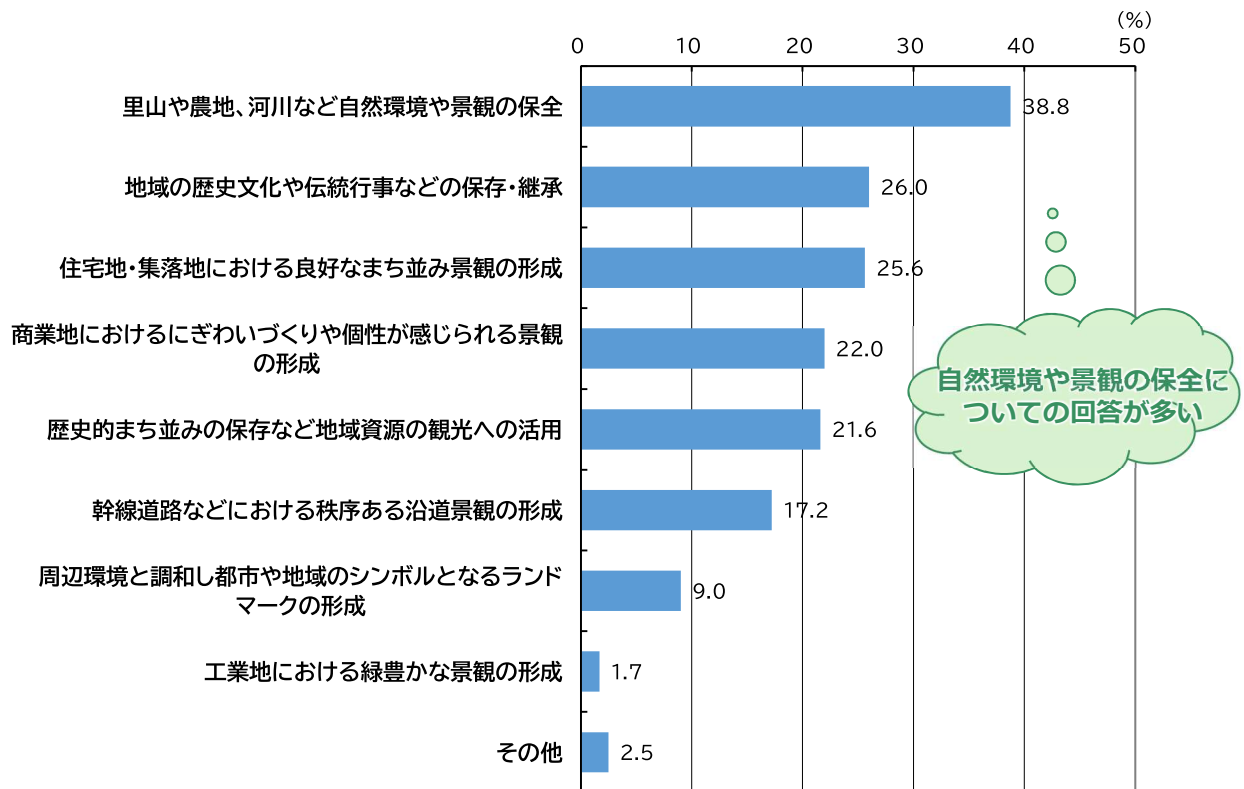
- ・「鉄道やバスが連携した公共交通が利用しやすいまちづくり」（39.6%）が最も多く望まれており、次いで「生活基盤が整った良好な住環境のまちづくり」（30.7%）、「医療・福祉が充実したまちづくり」（28.3%）となっています。



問 14：地域資源を活用したまちづくりのため、今後何に力を入れるべきだとお考えですか。

【最大2つまで】

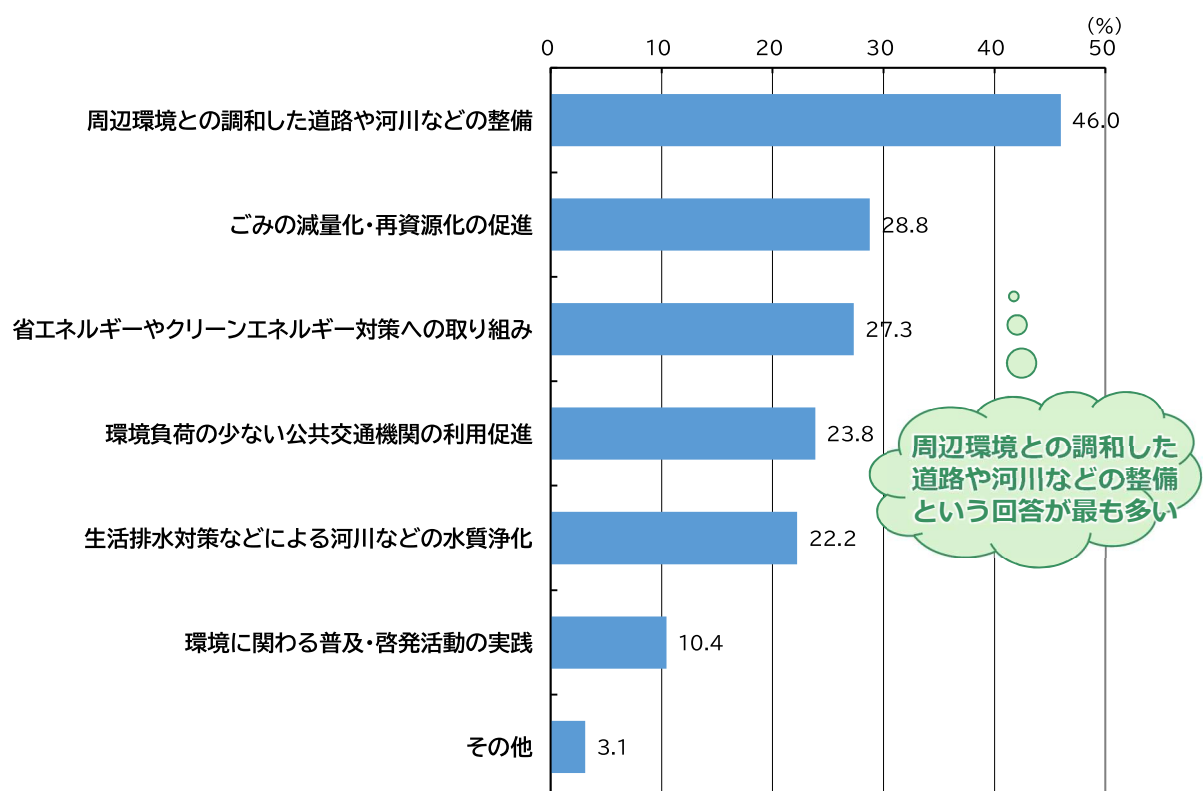
- ・「里山や農地、河川など自然環境や景観の保全」(38.8%) が最も多く、次いで「地域の歴史文化や伝統行事などの保存・継承」(26.0%)、「住宅地・集落地における良好なまち並み景観の形成」(25.6%) となっています。



問 15：環境にやさしいまちづくりのため、今後何に力を入れるべきだとお考えですか。

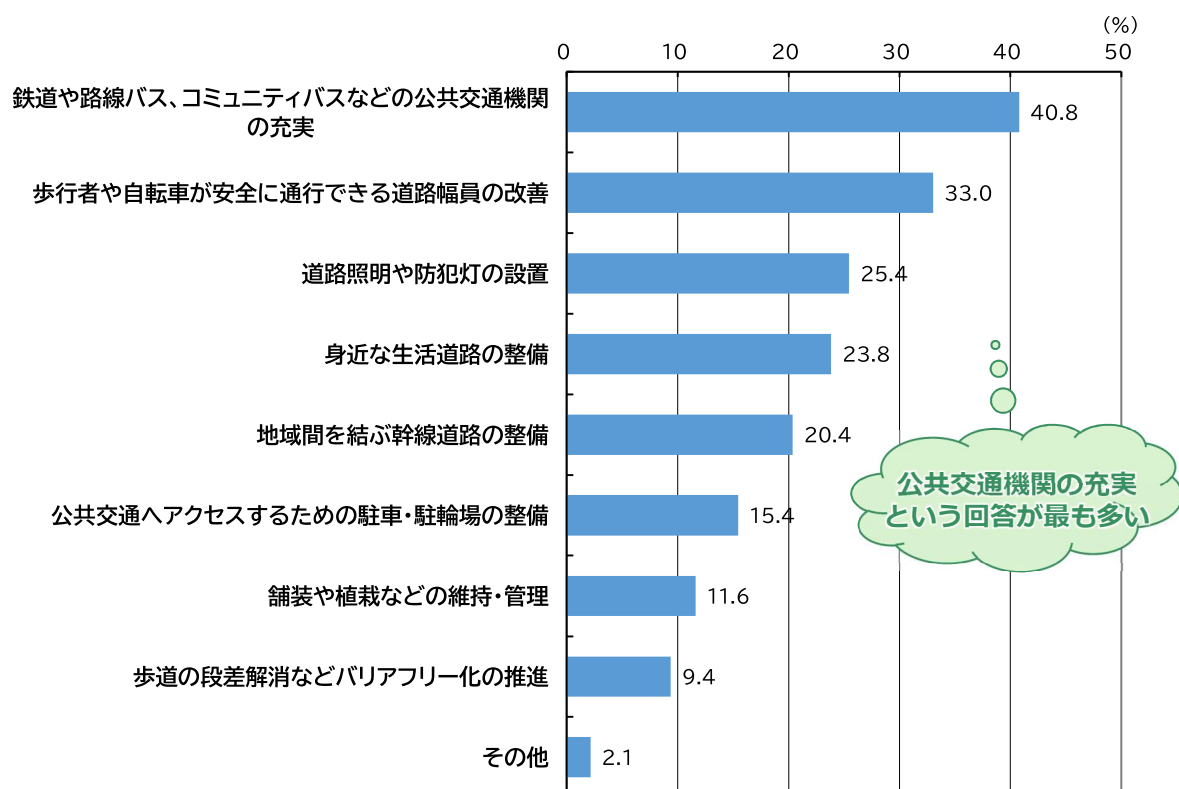
【最大2つまで】

- ・「周辺環境との調和した道路や河川などの整備」が(46.0%) と最も多く、次いで「ごみの減量化・再資源化の促進」(28.8%)、「省エネルギーやクリーンエネルギー対策への取り組み」(27.3%) となっています。



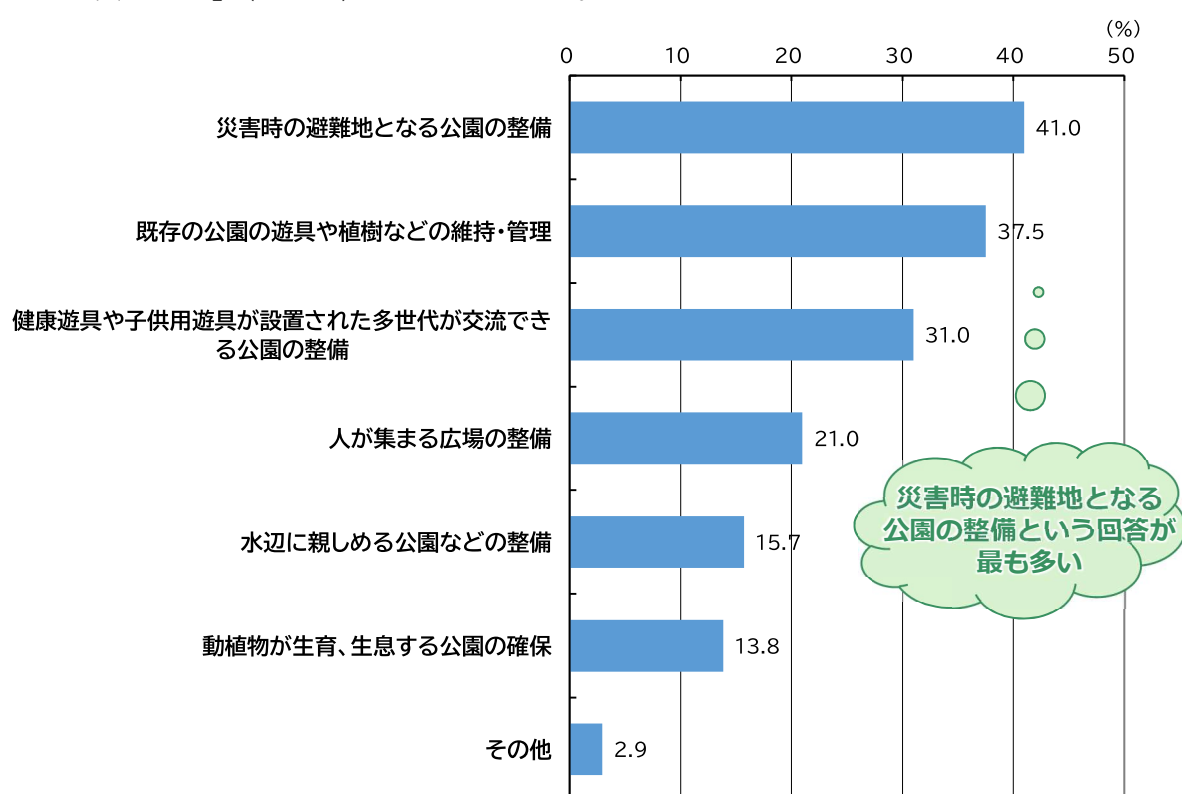
問 16 : 道路や公共交通が充実したまちづくりのため、今後何に力を入れるべきだとお考えですか。 【最大 2 つまで】

- ・「鉄道や路線バス、コミュニティバスなどの公共交通機関の充実」が (40.8%) と最も多く、次いで「歩行者や自転車が安全に通行できる道路幅員の改善」(33.0%)、「道路照明や防犯灯の設置」(25.4%) となっています。



問 17 : 公園・緑地などの市民の憩いの場や自然とふれ合う場づくりのため、今後何に力を入れるべきだとお考えですか。 【最大 2 つまで】

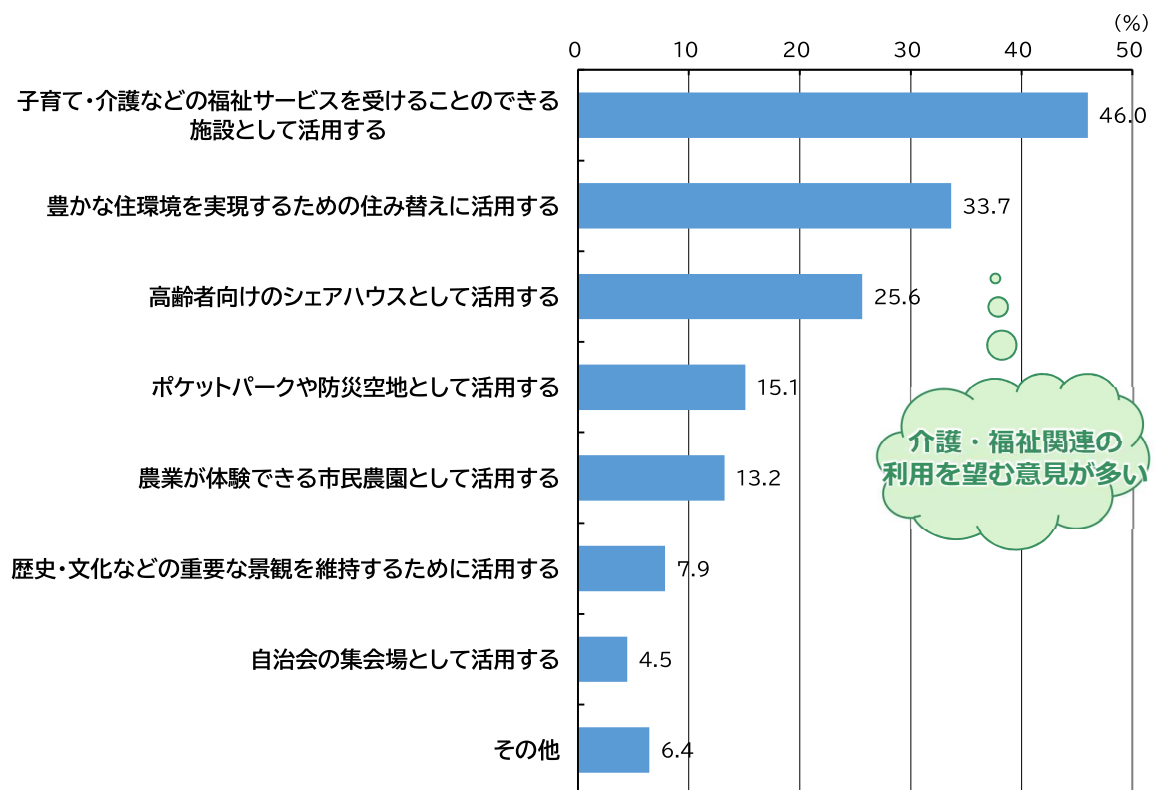
- ・「災害時の避難地となる公園の整備」が (41.0%) と最も多く、次いで「既存の公園の遊具や植樹などの維持・管理」(37.5%)、「健康遊具や子供用遊具が設置された多世代が交流できる公園の整備」(31.0%) となっています。



問 18：空き家や空き地を、今後どう活用していくべきだとお考えですか。

【最大2つまで】

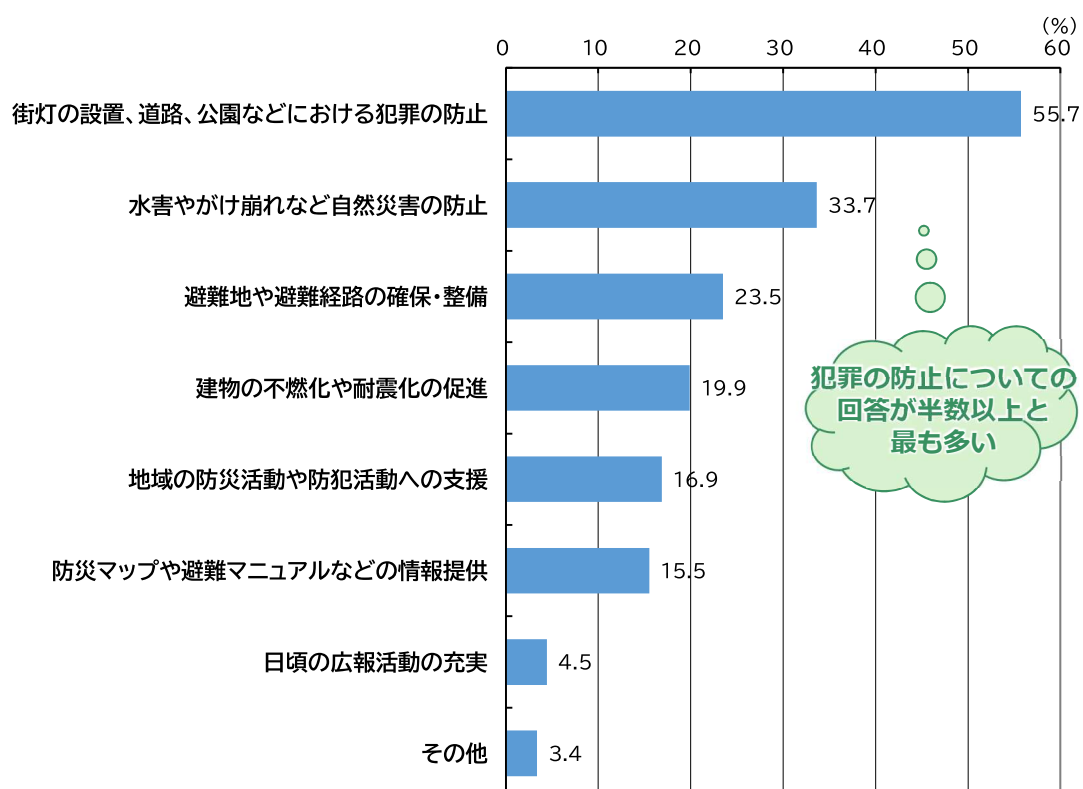
- ・「子育て・介護などの福祉サービスを受けることのできる施設として活用する」が(46.0%)と最も多く、次いで「豊かな住環境を実現するための住み替えに活用する」(33.7%)、「高齢者向けのシェアハウスとして活用する」(25.6%)となっています。



問 19：安全・安心なまちづくりのため、今後何に力を入れるべきだとお考えですか。

【最大2つまで】

- ・「街灯の設置、道路、公園などにおける犯罪の防止」が(55.7%)と最も多く、次いで「水害やがけ崩れなど自然災害の防止」(33.7%)、「避難地や避難経路の確保・整備」(23.5%)となっています。

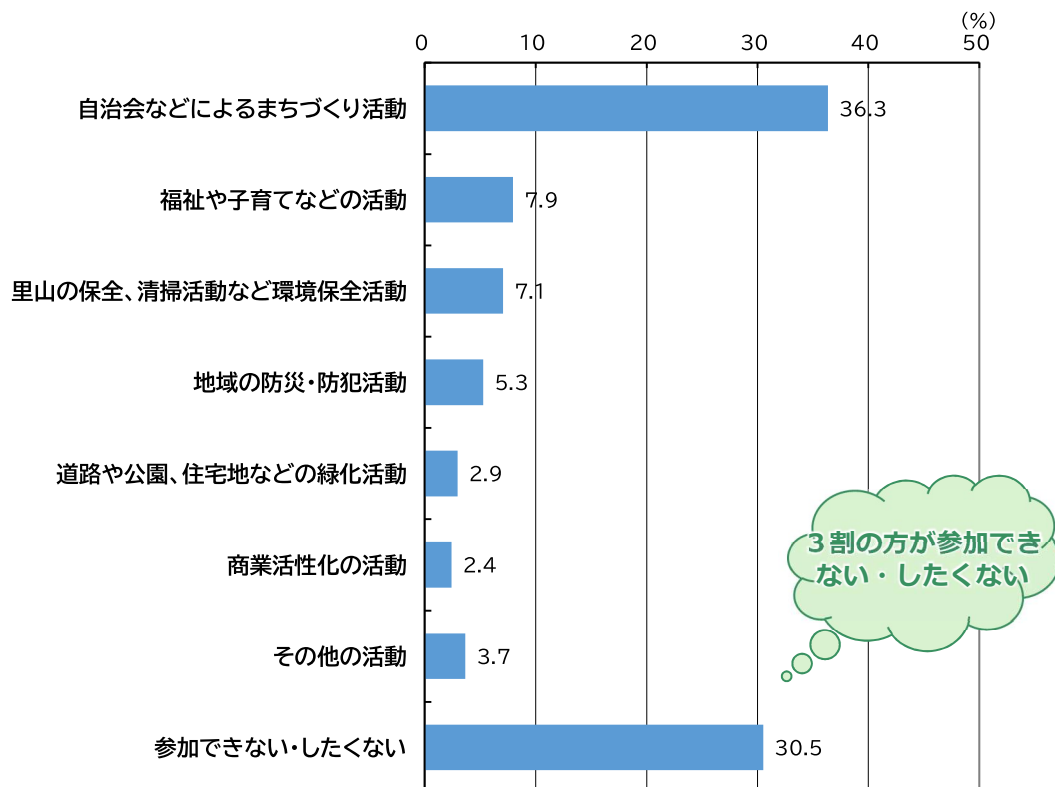


5. 地域の活動

問 20：あなたは現在どのような地域活動に参加していますか。【最大2つまで】
今後どのような地域活動に参加したいと思われますか。【最大2つまで】

■現在の参加状況

- ・半数以上の回答者がいずれかの地域活動に参加しており、中でも「自治会などによるまちづくり活動」への参加が36.3%で最も多くなっています。



■今後の参加意向

- ・今後の地域活動への参加意向は、「自治会などによるまちづくり活動」への参加意向は18.8%で半減していますが、「福祉や子育てなどの活動」「里山の保全、清掃活動など環境保全活動」「地域の防災・防犯活動」への参加意向が多くなっています。

